

P161a **Enzo code** を用いた分子雲衝突の3次元高解像度シミュレーション

高平謙, Elizabeth Tasker, 羽部朝男 (北海道大学) and 福井康雄 (名古屋大学)

分子雲衝突は星形成や大質量星形成の有力なメカニズムとして考えられているが、その詳細はわかっていない。最近、Habe & Ohta(1992) がシミュレーションした非対称な分子雲の衝突の証拠が NANTEN team の観測によって示された (本年会 NANYENgroup 報告)。

我々は Adaptive Mesh Refinement (AMR) code である Enzo code を用いて非対称な分子雲衝突過程を、より詳細にシミュレーションし、形成される高密度領域の物理的性質と分子雲衝突のパラメータとの関係を調べている。本シミュレーションでは Enzo code によって密度が $10^{-24}g/cc$ から $10^{-16}g/cc$ 以上までの変化を計算できている。

発表ではこのシミュレーション結果を報告し、大質量星形成との関係を議論する。